

報道関係者各位

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

**株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス**  
**2016年3月期連結決算のお知らせ**

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松田 洋祐、以下当社）は、本日、2016年3月期の決算発表を行いましたのでお知らせいたします。

## 財務ハイライト

	百万円		
	2016年3月期	2015年3月期	前年比
売上高	214,101	167,891	+27.5%
営業利益	26,018	16,426	+58.4%
経常利益	25,322	16,984	+49.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	19,884	9,831	+102.3%
1株当たり当期純利益	163.04円	84.34円	—

詳細な情報は、本日開示の決算短信 (<http://www.hd.square-enix.com/jpn/16q4tanshin.pdf>) をご参照下さい。  
ご参考：スクウェア・エニックス・ホールディングス IRページ：<http://www.hd.square-enix.com/jpn/ir/>

2016年3月期は、スマートデバイス・PCブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおいて、従来のタイトル群が好調に推移したことに加えて、「メビウス ファイナルファンタジー」、「星のドラゴンクエスト」、「ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス」、「グリムノーツ」などのスマートフォン向け新規ゲームが好調に推移しました。また、家庭用ゲーム機向けタイトルにおいて、「JUST CAUSE 3」、「RISE OF THE TOMB RAIDER」の発売が堅調であったほか、多人数参加型オンラインロールプレイングゲーム「ファイナルファンタジーXIV」および「ドラゴンクエストX」の追加ディスクの販売、運営が好調に推移しました。

アミューズメント事業においては、「ディシディア ファイナルファンタジー」などのアミューズメント機器の販売が好調であったほか、効率的な店舗運営に努め、業績は順調に推移しています。

出版事業においては、前年度と比較してコミックスの売上が減少しました。

ライツ・プロパティ等事業では、「ファイナルファンタジーXIV」の追加ディスクの販売に伴い、自社コンテンツのキャラクターグッズの販売が増加しました。

<ご参考>

## 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスについて

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスは、多彩なコンテンツ／サービス事業を展開しているスクウェア・エニックス・グループを統括する純粋持株会社です。当社グループは、スクウェア・エニックス、タイトー、アイドスなどの国際的ブランドのもと上質なエンターテインメント・コンテンツ／サービスを提供しています。また、先進的な開発拠点を日本、北米および欧州に配置し、国際的な事業推進体制を構築しています。当社グループの自社IPの代表作には「ドラゴンクエスト」シリーズ（パッケージゲーム累計出荷本数6,600万本以上）、「ファイナルファンタジー」シリーズ（1億1,000万本以上）、「トゥームレイダー」シリーズ（4,500万本以上）、「スペースインベーダー」シリーズなどがあります。（<http://www.hd.square-enix.com/jpn/>）

※SQUARE ENIX および SQUARE ENIX ロゴ、ドラゴンクエスト／DRAGON QUEST、ファイナルファンタジー／FINAL FANTASY、トゥームレイダー／TOMB RAIDER、スペースインベーダー／SPACE INVADERS、その他の社名、商品名は、日本およびその他の国におけるスクウェア・エニックス・グループの商標または登録商標です。

※その他、記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。